

【定例会議】審議概要 (令和3年度 入札監視委員会 第一部会 第1回)

別表2

開催日及び開催方法	令和3年8月25日(水) WEB会議方式	
委員 (五十音順) (敬称略)	泉 克幸 (関西大学 教授) 神田 彰 (公益社団法人関西経済連合会 理事)・(今回抽出担当) 木村 亮 (京都大学大学院 教授) 清滝 ふみ (近畿大学 教授) 高橋 司 (勝部・高橋法律事務所 弁護士)・(第一部会長)	
審議対象期間	令和2年10月1日 ~ 令和3年3月31日	
報告事項	① 発注状況報告 ② 指名停止措置の運用状況報告 ③ 談合疑義事実の選定に関する基準に該当した案件の発生状況 ④ 再度入札における一位不動状況報告 ⑤ 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況報告 ⑥ 一者応札の発生状況報告 ⑦ 不調・不落の発生状況報告 ⑧ 高落札率の発生状況報告	(備考) ・①～⑧について、整備局資料に基づき説明を行った。
審議事項	(備考)	
契約方式	総件数10件	・ 審議対象案件は、別紙「審議案件一覧」のとおり
(工事)		
一般競争入札(WTO対)	1件	
一般競争入札(WTO対象外)	4件	
随意契約	1件	
(業務)		
簡易公募型競争入札	1件	
通常指名競争入札方式	1件	
簡易公募型プロポーザル方式	1件	
(役務及び物品)		
一般競争入札	1件	
委員からの意見・質問 それらに対する回答等	意見・質問	回答
	1. 報告事項のとおり 2. 審議事項のとおり	1. 報告事項のとおり 2. 審議事項のとおり
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	

近畿地方整備局 入札監視委員会（令和3年度第一部会第1回定例会議）審議概要

意見・質問	回答
<p>1. 報告事項</p>	
<p>① 発注状況報告</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に質問なし。</li> </ul>	
<p>② 指名停止措置の運用状況報告</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同じ会社が、2件で指名停止の要件に該当し、それぞれ指名停止3ヶ月の措置となっているが、この場合、足して6ヶ月とならないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2つの措置がある場合、「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」において、期間の長い方で措置をするという規程になっていることから、今回の場合は3ヶ月となる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病気が原因で技術者の配置ができなかった2件について、不正又は不誠実な行為に該当するという措置になるのはどのような理由か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 落札決定後の契約辞退や契約締結後の履行不能による契約解除は、いずれも「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」における基準「不正又は不誠実な行為」に該当することから、指名停止3ヶ月の措置となった。</li> </ul>
<p>③ 談合疑義事実の選定に関する基準に該当した案件の発生状況</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札説明書の交付を受けずに応札する者がいた場合に、その者のみならず、全応札者にヒアリングすることは時間の無駄である。基本的なルールを守れていない者は、ヒアリングも必要で無く、直ちに排除すべきでは無いか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ その者がどこから入手したか、出所をはっきりさせるために、その者のみならず、参加者全員から聞く必要があると考えている。</li> </ul>
<p>④ 再度入札における一位不動状況報告</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に質問なし。</li> </ul>	
<p>⑤ 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況報告</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に質問なし。</li> </ul>	
<p>⑥ 一者応札の発生状況報告</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に質問なし。</li> </ul>	
<p>⑦ 不調・不落の発生状況報告</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に質問なし。</li> </ul>	
<p>⑧ 高落札率の発生状況報告</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に質問なし。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報告については了承とする。</li> </ul>	

## 2. 審議事項

### ■ 抽出案件結果報告

### ■ 抽出案件説明及び審議

#### ● 1. 一般競争入札方式(WTO 対象)

(高原トンネル上部斜面对策工事)

本件は了承とする。

#### ● 2. 一般競争入札方式(WTO 対象外)

(猪名川右岸維持作業)

50年、100年に1回の雨が降っても、大きな被害にならないのは、本業務のような、堤防の監視や除草といった地道な作業をしっかりとやる会社があるからだと考えるが、応札者が2者しかいないのが問題である。いざというときのために維持管理が重要なので、近畿地整は、もっとたくさんの会社が応札してくれるようにすべきである。

[u1]

除草、清掃等は、毎年、継続的に必要だと思うが、補修などは何年かに1回という形で発注しているのか。

[u2]

本件は了承とする。

#### ● 3. 一般競争入札方式(WTO 対象外)

(国道28号防災工事)

入札無効が多いが、どういう理由が考えられるか。

本件は了承とする。

本作業は、防災上非常に重要であると考えている。参加資格となる地域得要件については、出水時にはすぐに作業員の確保が必要となるため、猪名川流域および隣接する地域を設定している。また、応札されているのは地元の建設業者であり、地域の守り手として育成といったことも必要ではないかと考えている。

河川巡視において構造物の点検も行っており、優先順位を付けながら補修計画を立てている。今年補修したからと言って、全て終わるものではないので、毎年補修についても作業に入っている。

標準歩掛かりが公表されていることと、歩掛かり見積も公表している。そのことから想像ではあるが、調査基準価格あたりを狙ってきている者が多くなり、結果的に、調査基準価格を下回って無効となった者が出たのではないかと。

● 4. 一般競争入札方式(WTO 対象外)

(近畿技術事務所構内整備工事)

本件は了承とする。

● 5. 一般競争入札方式(WTO 対象外)

(京都府警察機動隊寄宿舍電気設備工事)

入札調書をみると、無効となっている者が多いが、ほとんどの理由が施工体制確認調査を辞退したためとあるが。

低入札者が多いが、その入札額で受注できると、施工体制確認調査で頑張っって主張すれば良いと思うが、皆が辞退するのはどういう理由なのか。

逆の見方をすれば、これだけ多くの会社が、低い価格で受注しても出来ると言っているのだから、今後は、調査基準価格を下げなければならないという考え方もあるのではないか。

本件は了承とする。

● 6. 随意契約

(国道8号御幸橋下部拡幅その他工事)

工事としては格別難しいというものでは無いのか。

本件は了承とする。

● 7. 簡易公募型競争入札

(淀川流量観測業務)

本件は了承とする。

受変電設備、自家発電設備、電灯設備等の高価な設備システムの見積採用金額の違いによるものではないかと考えている。営繕工事の場合は、工種が多く単価についても歩掛、市場単価、メーカー見積等があり、結果的に差が出て、調査基準価格を下回る応札が発生したと考えている。

施工体制確認調査に必要な提出資料の作成等に時間と労力を要することを理由に辞退されたのではないかと考えている。

調査基準価格は、ダンピング防止、下請保護の観点からも、無効が多いからといって簡単に下げることが出来ない点、ご理解いただきたい。

特別に難しい工事では無いが、現道を規制しながら施工する工事である。

● 8. 通常指名競争入札方式

(近畿道路メンテナンスセンターOAフロア化等図面作成業務)

本件は了承とする。

● 9. 簡易公募型プロポーザル方式

(警察庁堺分庁舎等設計業務)

本件は了承とする。

● 10. 一般競争入札方式

(木津川上流河川事務所緊急自動車1台交換購入)

競争参加資格で、「近畿地域又は東海北陸地域の競争参加資格を有するもの」となっているが、東海北陸地域が入っているのは何故か。

色々な車両があるなかで、緊急車両に必要なスペックを提示して、条件に該当する車を相手に選定させて、その車両の価格を競うものなのか、もしくは、特定の車を指定しているのか。

本件は了承とする。

審議事項についてはすべて了承とし、審議については終了とする。

木津川上流河川事務所の発注であり、当該事務所は三重県に所在することから、東海北陸地域も加えて設定している。

災害派遣を見据えた車両の規格であり、乗車人数の指定や4WDといった条件を付けた。結果、参加2者からは、同じ車両が示された。